

高知くらしの護身術

191

エアゾール簡易消火器

破裂事故に注意

(2010年12月7日掲載原稿)

エアゾール式の簡易消火器の破裂事故が相次いでいます。事故が起きているのは、ヤマトプロテック株式会社が2001年から02年にかけて、製造販売した「ヤマトボーイKT」と「FMボーイK」の2種類のエアゾール式簡易消火器です。いずれも直径6㍉、高さ25㍉のアルミ製消火器。台所で「てんぷら油」などによる火災が発生した際に使う防災グッズとして販売されたものです。

対象となるのは消火器の品質保証期間が2005年1月から10月までのもので、缶の底に表示されています。これらは製造工程上の不具合が原因。容器内部の充填（じゅうてん）薬剤によりアルミニウム容器の腐食が進行し、この腐食反応により、発生した水素ガスが容器の内圧を高め、破裂事故に至る可能性があります。

破裂によって容器の破片や消火剤が飛散してけがをしたり、破裂時の音が原因で耳鳴りが起きるなど、重大な被害をもたらす恐れがあり大変危険です。

消費者庁によると、容器の変形、液漏れ、亀裂、破裂など、これらの消火器に関する事故の報告が9、10月だけで18件ありました。

スプレー式の簡易消火器を購入され、自宅や職場などに置いてある人は消火器が対象の2種類でないか、また品質保証期間（耐用年数）が過ぎていないか、いま一度確認をするようにしてください。

破裂事故が相次いでいる2種類の場合は、ヤマトプロテック株式会社（フリーダイヤル0120・801・084）に連絡してください。